

Japanese
The Tree of Life & The Serpent
TCA-097TRE

命の木とサーパント



ウィリアム・マリオン・ブラハム



www.messagehub.info

Japanese
The Tree of Life & The Serpent
TCA-097TRE

命の木とサーパント



ウィリアム・マリオン・ブラハム



www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教が
ウィリアムブラナムによって語られたものが
無料でダウンロード可能で又多くの言語で
印刷可能になっています。(日本語での翻訳
あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料
でコピー、配布することは許可されていま
す。

www.messagehub.info

はじめに

オーディオや転写された1100の説教が
ウィリアムブラナムによって語られたものが
無料でダウンロード可能で又多くの言語で
印刷可能になっています。(日本語での翻訳
あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料
でコピー、配布することは許可されていま
す。

www.messagehub.info

命の木とサーパント

黙示録2:7、

「...勝利を得る者に、わたしは神の
パラダイスにあるいのちの木の實を食
べさせよう。」

これは将来すべての時代で勝利を得た者に与える奨励です。戦いの最後の笛がなった時、私たちの鎧が降ろされた時、そうしたら私たちは神のパラダイスで休み、いのちの木は私たちの分となります、いつまでも。

91「いのちの木」なんという美しい例えでしょうか。創世記においてそれは三回言及され、黙示録においても三回言及されました。六ヶ所すべてにおいてそれは同じ木であり、同じことの象徴です。

しかしいのちの木とはなんでしょう。さて、まず私たちはみな木自身はなんの象徴なのかを知らなければなりません。民数記24:6において、バラムがイスラエルを描写しました、彼は彼らが「主が植えられた沈香樹のよう(編注:口語訳聖書引用)」と言いました。聖書を通して木は詩篇第1章のように人を指します。したがっていのちの木はいのちの人でなければなりません。

命の木とサーパント

黙示録2:7、

「...勝利を得る者に、わたしは神の
パラダイスにあるいのちの木の實を食
べさせよう。」

これは将来すべての時代で勝利を得た者に与える奨励です。戦いの最後の笛がなった時、私たちの鎧が降ろされた時、そうしたら私たちは神のパラダイスで休み、いのちの木は私たちの分となります、いつまでも。

91「いのちの木」なんという美しい例えでしょうか。創世記においてそれは三回言及され、黙示録においても三回言及されました。六ヶ所すべてにおいてそれは同じ木であり、同じことの象徴です。

しかしいのちの木とはなんでしょう。さて、まず私たちはみな木自身はなんの象徴なのかを知らなければなりません。民数記24:6において、バラムがイスラエルを描写しました、彼は彼らが「主が植えられた沈香樹のよう(編注:口語訳聖書引用)」と言いました。聖書を通して木は詩篇第1章のように人を指します。したがっていのちの木はいのちの人でなければなりません。

ん、そしてそれはイエスなのです。

さてエデンの園の真ん中には二本の木が立っています。一つはいのちの木、もう一つは善悪の知識の木です。人はいのちの木によって生きなければならぬが、もう一本の木に触れてはならない、さもないと彼は死んでしまいます。しかし人はもう一本の木の実を食べると、そうした時、死は彼の罪によって彼に入り、そして彼は神から分離されました。

さてエデンの園の木は、その木はいのちの源、すなわちイエスでした。ヨハネの福音書の6章から8章まで、イエスは御自身を永遠の命の源だと言われました。主は御自身を天からのパンだと言われました[ヨハネ6:33,48,51]。主は御自身を捧げられること、そしてもし主を食べる者は決して死ぬことはないと言われました[ヨハネ6:58]。主は御自身はアブラハムをご存知で、アブラハムが生まれる前から、「わたしはある」と宣言されました[ヨハネ8:58]。主は御自身が彼らに活ける水を与えられ、飲んだものは決してまた渴くことはなく[ヨハネ6:35]、永遠に生きると予言されました。主は御自身のことを偉大なわたしはいるとして示されました。主はいのちのパン、いのちの井戸、永遠の方、いのちの木なのです。主はエデンの園の真ん中におられたように、将来神の樂園の真ん中におられます。

ん、そしてそれはイエスなのです。

さてエデンの園の真ん中には二本の木が立っています。一つはいのちの木、もう一つは善悪の知識の木です。人はいのちの木によって生きなければならぬが、もう一本の木に触れてはならない、さもないと彼は死んでしまいます。しかし人はもう一本の木の実を食べると、そうした時、死は彼の罪によって彼に入り、そして彼は神から分離されました。

さてエデンの園の木は、その木はいのちの源、すなわちイエスでした。ヨハネの福音書の6章から8章まで、イエスは御自身を永遠の命の源だと言われました。主は御自身を天からのパンだと言われました[ヨハネ6:33,48,51]。主は御自身を捧げられること、そしてもし主を食べる者は決して死ぬことはないと言われました[ヨハネ6:58]。主は御自身はアブラハムをご存知で、アブラハムが生まれる前から、「わたしはある」と宣言されました[ヨハネ8:58]。主は御自身が彼らに活ける水を与えられ、飲んだものは決してまた渴くことはなく[ヨハネ6:35]、永遠に生きると予言されました。主は御自身のことを偉大なわたしはいるとして示されました。主はいのちのパン、いのちの井戸、永遠の方、いのちの木なのです。主はエデンの園の真ん中におられたように、将来神の樂園の真ん中におられます。

をもっているのですから、人をえこひいきしてはなりません。」貧しい人々は、神に信頼するより金持ちに頼って助けを得ようとしていました。「そんなことをしてはいけない」、とヤコブは言います。「金がすべてではありません。金は答えではありません。」そして今日でも同様、金が解決してくれるものではありません。かつてないほどの富を持っているにも関わらず、霊的な働きが衰えてきています。神のみわざは金によるのではなく、神の霊によるのです。そしてみことばに忠実に生きている者のところへのみ、聖霊の働きは訪れるのです。

をもっているのですから、人をえこひいきしてはなりません。」貧しい人々は、神に信頼するより金持ちに頼って助けを得ようとしていました。「そんなことをしてはいけない」、とヤコブは言います。「金がすべてではありません。金は答えではありません。」そして今日でも同様、金が解決してくれるものではありません。かつてないほどの富を持っているにも関わらず、霊的な働きが衰えてきています。神のみわざは金によるのではなく、神の霊によるのです。そしてみことばに忠実に生きている者のところへのみ、聖霊の働きは訪れるのです。

ではないのです。神の国は建物ではなく、わたしたちの内側にあるのです。豊かな人は、神において豊かなのであって、物質的に富んでいる人ではないのです。

「ああ」と神の霊が叫ぶ声がします。「わたしはあなたの貧しさと欠乏を見ている。あなたは多くを持っていない。何も自慢できるものを所有していない。あなたが持っていたものは奪われた。あなたは永遠の財産を得るために、喜んで持ち物を手放したのだ。物笑いの種となり、虐げられた。最後の頼みの財産もない。それでもあなたは豊かなのだ。あなたの盾であり、途方もなく大きな報酬である神が、あなたの財産なのだ。あなたの王国はまだ到来していない。だが、やがて訪れる。それは永遠に続く王国である。わたしはあなたの試練と苦悩を心に留めている。それに耐えるのがどれだけ辛いかわかっている。わたしはそれらすべてを覚えていて、地上に戻り、サタンの手から権利を奪還する日にあなたに報いる。」

裕福が悪というわけではありません。神は金持ちも救われます。神の子どもたちの中には金持ちもいます。しかし金銭のことはつまずきの種になりやすいのです。それはもっている人だけでなく、もっていない人にとってもいえます。さかのぼって最初の時代に、ヤコブは裕福な人に重きをおく人たちに対し、こう言いました。「あなたがたは主イエス・キリストを信じる信仰

ではないのです。神の国は建物ではなく、わたしたちの内側にあるのです。豊かな人は、神において豊かなのであって、物質的に富んでいる人ではないのです。

「ああ」と神の霊が叫ぶ声がします。「わたしはあなたの貧しさと欠乏を見ている。あなたは多くを持っていない。何も自慢できるものを所有していない。あなたが持っていたものは奪われた。あなたは永遠の財産を得るために、喜んで持ち物を手放したのだ。物笑いの種となり、虐げられた。最後の頼みの財産もない。それでもあなたは豊かなのだ。あなたの盾であり、途方もなく大きな報酬である神が、あなたの財産なのだ。あなたの王国はまだ到来していない。だが、やがて訪れる。それは永遠に続く王国である。わたしはあなたの試練と苦悩を心に留めている。それに耐えるのがどれだけ辛いかわかっている。わたしはそれらすべてを覚えていて、地上に戻り、サタンの手から権利を奪還する日にあなたに報いる。」

裕福が悪というわけではありません。神は金持ちも救われます。神の子どもたちの中には金持ちもいます。しかし金銭のことはつまずきの種になりやすいのです。それはもっている人だけでなく、もっていない人にとってもいえます。さかのぼって最初の時代に、ヤコブは裕福な人に重きをおく人たちに対し、こう言いました。「あなたがたは主イエス・キリストを信じる信仰

その中にあるその2本の木は神が置かれた他の木となんら変わらないものだと考えている方はいます。しかし注意深い学生はそうでないことを知っています。バプテスマのヨハネが斧はすべての木の根の上に置かれたと叫んだ時、彼は自然な木ではなく、霊的な原則について話していました。さてヨハネI 5:11でこう書かれています、

「そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。」

イエスはヨハネ5:40でこう言われています、

「それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。」

したがって記録は、神の御言葉は、簡潔かつはっきりといのち、永遠のいのちは御子の中にあると言っています。他のところにはありません。ヨハネI 5:12、

「御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」

その中にあるその2本の木は神が置かれた他の木となんら変わらないものだと考えている方はいます。しかし注意深い学生はそうでないことを知っています。バプテスマのヨハネが斧はすべての木の根の上に置かれたと叫んだ時、彼は自然な木ではなく、霊的な原則について話していました。さてヨハネI 5:11でこう書かれています、

「そのあかしとは、神が私たちに永遠のいのちを与えられたということ、そしてこのいのちが御子のうちにあるということです。」

イエスはヨハネ5:40でこう言われています、

「それなのに、あなたがたは、いのちを得るためにわたしのもとに来ようとはしません。」

したがって記録は、神の御言葉は、簡潔かつはっきりといのち、永遠のいのちは御子の中にあると言っています。他のところにはありません。ヨハネI 5:12、

「御子を持つ者はいのちを持っており、神の御子を持たない者はいのちを持っていません。」

では記録は変えられず、取り除かれたり付け加えられたりするることができないものなら、記録はいのちは御子の中にあると支持しています... そうであれば、園の中の木はイエスでなければなりません。

はい。もしいのちの木は人なら、善悪の知識の木も人なのです。他のもののはずはありません。したがって良い者と悪い者はエデンの園の真ん中に隣り合わせに立っていました。エゼキエル書28:13

「あなた(サタン)は神の園、エデン
にいて、」

ここから「サーパント(Serpent)の種」の真の啓示が得られます。これがエデンの園の中で起きたことです。エバはサーパントにだまされたと御言葉に書かれています。彼女は実際にサーパントによって誘惑されました。創世記3:1においてこう書かれています、

「さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。」

この獣はあまりにも人間に近かったので(しかしやはり獣だったが)、理解し、話すことができました。彼は直立する生き物で、チンパンジーと人間の間くらいであったが、人間に近かったのです。彼はあまりにも

では記録は変えられず、取り除かれたり付け加えられたりするることができないものなら、記録はいのちは御子の中にあると支持しています... そうであれば、園の中の木はイエスでなければなりません。

はい。もしいのちの木は人なら、善悪の知識の木も人なのです。他のもののはずはありません。したがって良い者と悪い者はエデンの園の真ん中に隣り合わせに立っていました。エゼキエル書28:13

「あなた(サタン)は神の園、エデン
にいて、」

ここから「サーパント(Serpent)の種」の真の啓示が得られます。これがエデンの園の中で起きたことです。エバはサーパントにだまされたと御言葉に書かれています。彼女は実際にサーパントによって誘惑されました。創世記3:1においてこう書かれています、

「さて、神である主が造られたあらゆる野の獣のうちで、蛇が一番狡猾であった。」

この獣はあまりにも人間に近かったので(しかしやはり獣だったが)、理解し、話すことができました。彼は直立する生き物で、チンパンジーと人間の間くらいであったが、人間に近かったのです。彼はあまりにも

べて気前よくお与えにならないのでしょうか？

ここで再度、神の愛と善と叡智への信頼が試されます。キリストの訓告を思い出してください。「明日のことで思い悩むな。なにを食べようか、なにを着ようかと心配してはならない。あなたの父はあなたに必要なものをみな知っておられるからだ。百合を着飾らせ、雀を養ってくださる神であるから、あなたのためにはそれ以上のことをしてくださる。からだのことは、あなたのいのちのために不可欠というものではない。人のいのちは、物質からできているわけではないからだ。それよりもまず神の国とその義を第一に求めなさい。そうすればそれに加えて、物質的な必要はすべて与えられるだろう。」

神を信じる人は物質指向でなく、キリストに向かっているのです。地上の宝ではなく天の宝を求めています。クリスチャンの大半が裕福ではなく、どちらかといえば貧しいのは事実です。イエスの時代もそうでした。パウロの時代もそうでした。今日でも当然そうです。しかし今の時代、つまりラオデキアの時代というのは、軸がずれています。地上の物質に富んでいることが霊的に祝福されていると勘違いしているのです。今の教会はなんと金持ちでしょう。しかし聖霊に欠乏しています。「貧しいものは幸いです。神の国はあなたがたのものだから。」神の御国は飲み食いのこと

べて気前よくお与えにならないのでしょうか？

ここで再度、神の愛と善と叡智への信頼が試されます。キリストの訓告を思い出してください。「明日のことで思い悩むな。なにを食べようか、なにを着ようかと心配してはならない。あなたの父はあなたに必要なものをみな知っておられるからだ。百合を着飾らせ、雀を養ってくださる神であるから、あなたのためにはそれ以上のことをしてくださる。からだのことは、あなたのいのちのために不可欠というものではない。人のいのちは、物質からできているわけではないからだ。それよりもまず神の国とその義を第一に求めなさい。そうすればそれに加えて、物質的な必要はすべて与えられるだろう。」

神を信じる人は物質指向でなく、キリストに向かっているのです。地上の宝ではなく天の宝を求めています。クリスチャンの大半が裕福ではなく、どちらかといえば貧しいのは事実です。イエスの時代もそうでした。パウロの時代もそうでした。今日でも当然そうです。しかし今の時代、つまりラオデキアの時代というのは、軸がずれています。地上の物質に富んでいることが霊的に祝福されていると勘違いしているのです。今の教会はなんと金持ちでしょう。しかし聖霊に欠乏しています。「貧しいものは幸いです。神の国はあなたがたのものだから。」神の御国は飲み食いのこと

人生に曇り空や嵐が訪れるのは、神が背を向けておられるからではありません。だからといって、青空や鏡のように穏やかな水面が、神の愛とみ顔の輝きのしるしというわけでもないのです。神がわたしたちを承認してくださったというしるしは、唯一「愛する御子」のうちにあるのです。天地創造の前から、神はわたしたちを選び、愛してくださっています。神に愛されているのは確かだとしても、どうやってそれを知ることができるでしょうか？ それは神がそうおっしゃったからです。そして実行してくださっているからです。神はご自分のもとにわたしたちを近づけ、聖霊を与えて、神の子としてくださいました。それではどのようにして神の愛に応えたらよいのでしょうか。神が語られたことばを信じること。また、試練を受けていても、それが神の叡智によってもたらされたものであると信じ、喜びをもって耐え忍ぶことによってです。

「わたしはあなたの貧しさを知っている(しかしあなたは実際は富んでいるのだ)。」

またもや、「知っている」です。父親が家族を見守るように、神は教会の間を歩いておられます。神は家長です。家族を養う方です。それなのに家族の貧困をじっと見ておられるのです。未熟な信者ならつまづいてしまうでしょう。なぜ神はご自分の民が欠乏しているのに見つめていられるのでしょうか。なぜ手を差し伸

人生に曇り空や嵐が訪れるのは、神が背を向けておられるからではありません。だからといって、青空や鏡のように穏やかな水面が、神の愛とみ顔の輝きのしるしというわけでもないのです。神がわたしたちを承認してくださったというしるしは、唯一「愛する御子」のうちにあるのです。天地創造の前から、神はわたしたちを選び、愛してくださっています。神に愛されているのは確かだとしても、どうやってそれを知ることができるでしょうか？ それは神がそうおっしゃったからです。そして実行してくださっているからです。神はご自分のもとにわたしたちを近づけ、聖霊を与えて、神の子としてくださいました。それではどのようにして神の愛に応えたらよいのでしょうか。神が語られたことばを信じること。また、試練を受けていても、それが神の叡智によってもたらされたものであると信じ、喜びをもって耐え忍ぶことによってです。

「わたしはあなたの貧しさを知っている(しかしあなたは実際は富んでいるのだ)。」

またもや、「知っている」です。父親が家族を見守るように、神は教会の間を歩いておられます。神は家長です。家族を養う方です。それなのに家族の貧困をじっと見ておられるのです。未熟な信者ならつまづいてしまうでしょう。なぜ神はご自分の民が欠乏しているのに見つめていられるのでしょうか。なぜ手を差し伸

人間に近かったので、彼の種は女の卵子と交わることができ、女を妊娠させることができました。これが起きたとき、神はサーパントを呪いました。神はサーパントの体の全ての骨を変えられたので、サーパントは今日のヘビのように這わなければなりません。科学がどれだけ努力しようと、その失われた環を見つけられません。神はそのことに心に留められました。人は賢く、人間と動物の間に関連があることを見出すことができ、それを進化として証明しようとする。進化などはありません。しかし人と動物は交わったのです。それが神が隠して来られた秘密の一つだが、ここで啓示されました。そのことはエデンの園の中でエバがいのちから離れ、死を受け入れたときに起きました。

神が園の中で彼らに言われたことに注意してください。創世記3:15、

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかどにかみつく。」

もし女に子孫があるという御言葉を受け入れるなら、サーパントも子孫を持つはずです。もし女の子孫は男を通さずに生まれる男児なら、サーパントの子孫も同じ方式で生まれることとなります。つまり、もう

人間に近かったので、彼の種は女の卵子と交わることができ、女を妊娠させることができました。これが起きたとき、神はサーパントを呪いました。神はサーパントの体の全ての骨を変えられたので、サーパントは今日のヘビのように這わなければなりません。科学がどれだけ努力しようと、その失われた環を見つけられません。神はそのことに心に留められました。人は賢く、人間と動物の間に関連があることを見出すことができ、それを進化として証明しようとする。進化などはありません。しかし人と動物は交わったのです。それが神が隠して来られた秘密の一つだが、ここで啓示されました。そのことはエデンの園の中でエバがいのちから離れ、死を受け入れたときに起きました。

神が園の中で彼らに言われたことに注意してください。創世記3:15、

「わたしは、おまえと女との間に、また、おまえの子孫と女の子孫との間に、敵意を置く。彼は、おまえの頭を踏み碎き、おまえは、彼のかかどにかみつく。」

もし女に子孫があるという御言葉を受け入れるなら、サーパントも子孫を持つはずです。もし女の子孫は男を通さずに生まれる男児なら、サーパントの子孫も同じ方式で生まれることとなります。つまり、もう

一人の男児は人間の男性を通さずに生まれるということです。女の子孫はキリストであり、彼は人間の交わりではなく、神を通して生まれた方であるということを知らない学者はいません。サーパントの頭を踏み砕くという予言はキリストは十字架で悪魔を徹底的に破る予言を指しているのもよく知られています。十字架において、キリストは悪魔の頭を踏み砕かれ、悪魔は主のかかどに嘯みつきます。

この部分の聖句はサーパントの種はどのように地上に撒かれたかの啓示で、同じようにルカ1:26-35においては、女の子孫はどのように人間の男性を通さずに肉身として表されたかを記しています。

「ところで、その六か月目に、御使いガブリエルが、神から遣わされてガラヤのナザレという町のひとりの処女のところに来た。

この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリヤといった。

御使いは、入って来ると、マリヤに言った。『おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。』

一人の男児は人間の男性を通さずに生まれるということです。女の子孫はキリストであり、彼は人間の交わりではなく、神を通して生まれた方であるということを知らない学者はいません。サーパントの頭を踏み砕くという予言はキリストは十字架で悪魔を徹底的に破る予言を指しているのもよく知られています。十字架において、キリストは悪魔の頭を踏み砕かれ、悪魔は主のかかどに嘯みつきます。

この部分の聖句はサーパントの種はどのように地上に撒かれたかの啓示で、同じようにルカ1:26-35においては、女の子孫はどのように人間の男性を通さずに肉身として表されたかを記しています。

「ところで、その六か月目に、御使いガブリエルが、神から遣わされてガラヤのナザレという町のひとりの処女のところに来た。

この処女は、ダビデの家系のヨセフという人のいいなずけで、名をマリヤといった。

御使いは、入って来ると、マリヤに言った。『おめでとう、恵まれた方。主があなたとともにおられます。』

「主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、鞭を加えられるからである。訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。」

(ヘブライ 12:6-7)

スミルナ時代のこの状況は全ての教会時代に当てはまります。苦しみから逃れられる時代はありません。真の信者も、しかりです。これは神のご意思であり、苦しみは必要なのです。苦しみを通してキリストに似た者に変えられるという真理を、主が教えてくださいますように。「愛は辛抱強く、親切です。」

「わたしのために人々があなたがたをのしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。喜びなさい。喜び踊りなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々はそのようにして迫害したのです。」

(マタイ 5:11-12)

「主はその愛する者を懲らしめ、受け入れるすべての子に、鞭を加えられるからである。訓練と思って耐え忍びなさい。神はあなたがたを子として扱っておられるのです。父が懲らしめることをしない子がいるでしょうか。」

(ヘブライ 12:6-7)

スミルナ時代のこの状況は全ての教会時代に当てはまります。苦しみから逃れられる時代はありません。真の信者も、しかりです。これは神のご意思であり、苦しみは必要なのです。苦しみを通してキリストに似た者に変えられるという真理を、主が教えてくださいますように。「愛は辛抱強く、親切です。」

「わたしのために人々があなたがたをのしり、迫害し、ありもしないことで悪口を浴びせるとき、あなたがたは幸いです。喜びなさい。喜び踊りなさい。天ではあなたがたの報いは大きいから。あなたがたより前にいた預言者たちを、人々はそのようにして迫害したのです。」

(マタイ 5:11-12)

とはできません。なぜなら、性格というのは苦しみを通して形成されるからです。性格は打ち勝つことによつて得るのであり、賜物ではありません。人格の優れた者でなければ神と共に統治することはできません。なぜなら優れた性質の伴わない力はサタンによるものだからです。しかし優れた性質に力が備わるなら、神と共に統治します。キリストは、ご自分が勝利して父の御座に座したように、わたしたちご自身の御座を分かち合うことを望まれます。そのためにわたしたちは苦しみに打ち勝たなければなりません。勝利の座を得るためです。今しばらくの間の苦しみは、キリストが来られるときに明らかにされるとてつもない栄光に比べれば取るに足りません。多くの苦しみをとおして神の国に入ることを望む人々には、想像を絶する宝が待ち受けているのです。

「あなたがたを試みる燃え盛る火の試練を、怪しんではなりません。」

これはペトロが語った言葉です。苦しみによつてキリストに似た性質のものとなることを神が望んでおられることは不思議でしょうか。いいえ、不思議ではありません。わたしたちはみな試練を受けます。子となるために試みられ、鍛えられます。だれもそれを逃れることはできません。苦しまず、試みられてもいない教会には、神がおられないのです。

とはできません。なぜなら、性格というのは苦しみを通して形成されるからです。性格は打ち勝つことによつて得るのであり、賜物ではありません。人格の優れた者でなければ神と共に統治することはできません。なぜなら優れた性質の伴わない力はサタンによるものだからです。しかし優れた性質に力が備わるなら、神と共に統治します。キリストは、ご自分が勝利して父の御座に座したように、わたしたちご自身の御座を分かち合うことを望まれます。そのためにわたしたちは苦しみに打ち勝たなければなりません。勝利の座を得るためです。今しばらくの間の苦しみは、キリストが来られるときに明らかにされるとてつもない栄光に比べれば取るに足りません。多くの苦しみをとおして神の国に入ることを望む人々には、想像を絶する宝が待ち受けているのです。

「あなたがたを試みる燃え盛る火の試練を、怪しんではなりません。」

これはペトロが語った言葉です。苦しみによつてキリストに似た性質のものとなることを神が望んでおられることは不思議でしょうか。いいえ、不思議ではありません。わたしたちはみな試練を受けます。子となるために試みられ、鍛えられます。だれもそれを逃れることはできません。苦しまず、試みられてもいない教会には、神がおられないのです。

しかし、マリヤはこのことばに、ひどくとまどつて、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。

すると御使いが言った。『こわがることはない。マリヤ。あなたは神から恵みを受けたのです。』

ご覧なさい。あなたはみごもつて、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。

その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。

彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。』

そこで、マリヤは御使いに言った。『どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。』

御使いは答えて言った。『聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があ

しかし、マリヤはこのことばに、ひどくとまどつて、これはいったい何のあいさつかと考え込んだ。

すると御使いが言った。『こわがることはない。マリヤ。あなたは神から恵みを受けたのです。』

ご覧なさい。あなたはみごもつて、男の子を産みます。名をイエスとつけなさい。

その子はすぐれた者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また、神である主は彼にその父ダビデの王位をお与えになります。

彼はとこしえにヤコブの家を治め、その国は終わることがありません。』

そこで、マリヤは御使いに言った。『どうしてそのようなことになりえましょう。私はまだ男の人を知りませんのに。』

御使いは答えて言った。『聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があ

なたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。」

女の子孫は文字通り神が御自身を肉に表された方であると同様に、サーパントの子孫も文字通りサタンが人間の血筋に入るドアを開けられる道筋を見つけたものでした。サタンは神のように自分自身のために肉体を創ることができないため(なぜなら彼は**創られた**霊だから)、創世記は彼がどのように自分の子孫を繁殖し、人間の血筋の中に導入もしくは注入したかを記録しています。サタンが「サーパント(serpent)」と呼ばれていたことを思い出してください。私たちが話しているのは彼の子孫もしくは人間の血筋に注入された種のことです。

アダムがまだエバに対して肉の欲に対する知識がない前に、サーパントは彼より先に知識がありました。そうして生まれたのがカインでした。カインは「悪い者」から出た(生まれた、もうけられた)者です[ヨハネ I 3:12]。ヨハネの中におられた聖霊は同じところでアダムを「悪い者」とは呼ばずに(さもないと彼はカインの父になってしまうのです)、別のところではアダムのことを「神の子」と呼んでいて、彼は創造された者でした[ルカ3:38]。カインは自分の父親と同じ性格を持っていて、死をもたらす者、殺人者でした。彼が

なたをおおいます。それゆえ、生まれる者は、聖なる者、神の子と呼ばれます。」

女の子孫は文字通り神が御自身を肉に表された方であると同様に、サーパントの子孫も文字通りサタンが人間の血筋に入るドアを開けられる道筋を見つけたものでした。サタンは神のように自分自身のために肉体を創ることができないため(なぜなら彼は**創られた**霊だから)、創世記は彼がどのように自分の子孫を繁殖し、人間の血筋の中に導入もしくは注入したかを記録しています。サタンが「サーパント(serpent)」と呼ばれていたことを思い出してください。私たちが話しているのは彼の子孫もしくは人間の血筋に注入された種のことです。

アダムがまだエバに対して肉の欲に対する知識がない前に、サーパントは彼より先に知識がありました。そうして生まれたのがカインでした。カインは「悪い者」から出た(生まれた、もうけられた)者です[ヨハネ I 3:12]。ヨハネの中におられた聖霊は同じところでアダムを「悪い者」とは呼ばずに(さもないと彼はカインの父になってしまうのです)、別のところではアダムのことを「神の子」と呼んでいて、彼は創造された者でした[ルカ3:38]。カインは自分の父親と同じ性格を持っていて、死をもたらす者、殺人者でした。彼が

「わが兄弟たち、さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰が試されると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたはなにひとつ欠けることのない、成長を遂げた、完全な者になります。」

(ヤコブの手紙 1:2-4)

でもなぜ神は黙っておられるのでしょうか?その理由は次のとおりです。

「もし子どもであるなら、相続人でもあります。わたしたちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をを共にしているなら、わたしたちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人であり、今の時の色々な苦しみは、将来わたしたちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足らないものとわたしは考えます。」

(ローマ書 8:17-18)

キリストと共に苦しまなければ、共に統治するこ

「わが兄弟たち、さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰が試されると忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。その忍耐を完全に働かせなさい。そうすれば、あなたがたはなにひとつ欠けることのない、成長を遂げた、完全な者になります。」

(ヤコブの手紙 1:2-4)

でもなぜ神は黙っておられるのでしょうか?その理由は次のとおりです。

「もし子どもであるなら、相続人でもあります。わたしたちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をを共にしているなら、わたしたちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人であり、今の時の色々な苦しみは、将来わたしたちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足らないものとわたしは考えます。」

(ローマ書 8:17-18)

キリストと共に苦しまなければ、共に統治するこ

目的をお持ちです。もしなかったら、神は平和ではなく混乱の創始者になってしまうでしょう。神の目的は、わたしたちがしばらくの間苦しみを受けた後、完全なものとされることなのです。ヨブは言いました、

「神はわたしを力付けてくださるだろう。」(ヨブ 23:6)。

神ご自身も苦しみを受けられました。苦しみを経験して従順を学ばれました。神ご自身が様々な苦しみをとおして、完全なものとされたのです。

「キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、完全な者とされ、彼に従う全ての人々に対して、とこしえの救いを与えるものとなりました。」

(ヘブライ人の手紙 5:8-9)

つまり、イエスのご性質は苦しみをとおして完成されたのです。パウロによれば、イエスは教会に、ある程度の苦しみを残していられました。彼らもまた、神への信仰によって苦しむことをとおして、完全なものとされるために。なぜ神はこのようことを求められるのでしょうか？

目的をお持ちです。もしなかったら、神は平和ではなく混乱の創始者になってしまうでしょう。神の目的は、わたしたちがしばらくの間苦しみを受けた後、完全なものとされることなのです。ヨブは言いました、

「神はわたしを力付けてくださるだろう。」(ヨブ 23:6)。

神ご自身も苦しみを受けられました。苦しみを経験して従順を学ばれました。神ご自身が様々な苦しみをとおして、完全なものとされたのです。

「キリストは御子であられるのに、お受けになった多くの苦しみによって従順を学び、完全な者とされ、彼に従う全ての人々に対して、とこしえの救いを与えるものとなりました。」

(ヘブライ人の手紙 5:8-9)

つまり、イエスのご性質は苦しみをとおして完成されたのです。パウロによれば、イエスは教会に、ある程度の苦しみを残していられました。彼らもまた、神への信仰によって苦しむことをとおして、完全なものとされるために。なぜ神はこのようことを求められるのでしょうか？

創世記4:5,9,13,14,において全能の方と向き合ったとき、その神に対して徹底的に公然と反抗する態度は、彼が決して人間らしくない性格を持っていることを示し、それは聖書の中で悪魔が神と対面した時よりもさらにひどいように見えました。

「だが、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それで、カインはひどく怒り、顔を伏せた。」

主はカインに、『あなたの弟アベルは、どこにいるのか』と問われた。カインは答えた。『知りません。私は、自分の弟の番人なのではないでしょうか。』

カインは主に申し上げた。「私の咎は、大きすぎて、にないきれません。」

ああ、あなたはきょう私をこの土地から追い出されたので、私はあなたの御顔から隠れ、地上をさまよい歩くさすらい人とならなければなりません。それで、私に出会う者はだれでも、私を殺すでしょう。』

神が実際にカイン、アベル、そしてセツの出生について記録されたものに注意してください。創世記

創世記4:5,9,13,14,において全能の方と向き合ったとき、その神に対して徹底的に公然と反抗する態度は、彼が決して人間らしくない性格を持っていることを示し、それは聖書の中で悪魔が神と対面した時よりもさらにひどいように見えました。

「だが、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それで、カインはひどく怒り、顔を伏せた。」

主はカインに、『あなたの弟アベルは、どこにいるのか』と問われた。カインは答えた。『知りません。私は、自分の弟の番人なのではないでしょうか。』

カインは主に申し上げた。「私の咎は、大きすぎて、にないきれません。」

ああ、あなたはきょう私をこの土地から追い出されたので、私はあなたの御顔から隠れ、地上をさまよい歩くさすらい人とならなければなりません。それで、私に出会う者はだれでも、私を殺すでしょう。』

神が実際にカイン、アベル、そしてセツの出生について記録されたものに注意してください。創世記

4:1、

「人は、その妻エバを知った。彼女はみごもってカインを産み、「私は、主によってひとりの男子を得た」と言った。彼女は、それからまた、弟アベルを産んだ。」

創世記4:25、

「アダムは、さらに、その妻を知った。彼女は男の子を産み、その子をセツと名付けて…」

2回のアダムの肉の欲に対する知識の行為で3人の息子が生まれました。聖書は精確で完璧な神の御言葉であることから、これは間違いではなく私たちが啓発するための記録です。3人の息子がアダムの2回の行為から生まれたことから、その3人の中の1人はアダムの息子ではないことを容易にわかります。神は私たちに何かを示されるために、このことをこのような精確な方式で記録されました。この真実は、エバは別々の受精で子宮にふたりの息子(双子)をみごもりました。彼女は双子をみごもり、カインの受胎はアベルよりも少し早かったのです。もう一度その双子をみてください。いつものように完璧な比喻です。こ

4:1、

「人は、その妻エバを知った。彼女はみごもってカインを産み、「私は、主によってひとりの男子を得た」と言った。彼女は、それからまた、弟アベルを産んだ。」

創世記4:25、

「アダムは、さらに、その妻を知った。彼女は男の子を産み、その子をセツと名付けて…」

2回のアダムの肉の欲に対する知識の行為で3人の息子が生まれました。聖書は精確で完璧な神の御言葉であることから、これは間違いではなく私たちが啓発するための記録です。3人の息子がアダムの2回の行為から生まれたことから、その3人の中の1人はアダムの息子ではないことを容易にわかります。神は私たちに何かを示されるために、このことをこのような精確な方式で記録されました。この真実は、エバは別々の受精で子宮にふたりの息子(双子)をみごもりました。彼女は双子をみごもり、カインの受胎はアベルよりも少し早かったのです。もう一度その双子をみてください。いつものように完璧な比喻です。こ

「託宣。マラキによってイスラエルに臨んだ主の言葉

わたしはあなたたちを愛してきたと主は言われる。しかしあなたたちは言うどのように愛を示してくださったのかと。エサウはヤコブの兄ではないかと主は言われる。しかし、わたしはヤコブを愛しエサウを憎んだ。わたしは彼の山を荒廃させ彼の嗣業を荒れ野のジャツカルのものとした。」

(マラキ書 1:1-3)

神の愛は人々の理解をはるかに超えていました。人々は愛には苦しみが伴わないと思っていたのです。生まれたばかりの児をいたわるように神は愛して下さると思っていたのです。しかし、神の愛は「選び」に基づいた愛だと言われます。神の愛は、「神の選び」を証明します。何がであろうと神の民は救われることが決まっている、このことを神は愛によって証明しておられます。聖霊によって清められ、真理を信じている人は、すでに救いに定められています。パウロのように死ななければならないかもしれません。ヨブのように苦しみを受けなければならないかもしれません。神には決定権があります。神は至上のお方ですから。でも神は

「託宣。マラキによってイスラエルに臨んだ主の言葉

わたしはあなたたちを愛してきたと主は言われる。しかしあなたたちは言うどのように愛を示してくださったのかと。エサウはヤコブの兄ではないかと主は言われる。しかし、わたしはヤコブを愛しエサウを憎んだ。わたしは彼の山を荒廃させ彼の嗣業を荒れ野のジャツカルのものとした。」

(マラキ書 1:1-3)

神の愛は人々の理解をはるかに超えていました。人々は愛には苦しみが伴わないと思っていたのです。生まれたばかりの児をいたわるように神は愛して下さると思っていたのです。しかし、神の愛は「選び」に基づいた愛だと言われます。神の愛は、「神の選び」を証明します。何がであろうと神の民は救われることが決まっている、このことを神は愛によって証明しておられます。聖霊によって清められ、真理を信じている人は、すでに救いに定められています。パウロのように死ななければならないかもしれません。ヨブのように苦しみを受けなければならないかもしれません。神には決定権があります。神は至上のお方ですから。でも神は

束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。

『もうしばらくすれば、来るべき方が来られる。おそくなることはない。わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのところは彼を喜ばない。』』

(ヘブライ人への手紙 10:32-38)

心優しい人々が真の信者に単なるおつきあい以示す思いやりは、お返しとして死をもたらすかもしれません。

「知っています。」と、全能なる主なる神は言われます。神に属する人々の間を歩いておられるからです。羊飼いの長としてご自分の群の中におられます。しかし神は迫害を阻止されるでしょうか？ 艱難を取り除かれるでしょうか？ いいえ、そうではなく、「私はあなたの艱難を知っています。あなたの苦しみに無関心ではられません。」と言われます。このことは多くのクリスチャンにとって、つまずきの石になりかねません。イスラエルが経験したように、神の愛に疑問を持つてしまうかもしれません。愛と正義の神が、なぜ黙って人々の苦しむ様子を眺めていられるのでしょうか。

束のものを手に入れるために必要なのは忍耐です。

『もうしばらくすれば、来るべき方が来られる。おそくなることはない。わたしの義人は信仰によって生きる。もし、恐れ退くなら、わたしのところは彼を喜ばない。』』

(ヘブライ人への手紙 10:32-38)

心優しい人々が真の信者に単なるおつきあい以示す思いやりは、お返しとして死をもたらすかもしれません。

「知っています。」と、全能なる主なる神は言われます。神に属する人々の間を歩いておられるからです。羊飼いの長としてご自分の群の中におられます。しかし神は迫害を阻止されるでしょうか？ 艱難を取り除かれるでしょうか？ いいえ、そうではなく、「私はあなたの艱難を知っています。あなたの苦しみに無関心ではられません。」と言われます。このことは多くのクリスチャンにとって、つまずきの石になりかねません。イスラエルが経験したように、神の愛に疑問を持つてしまうかもしれません。愛と正義の神が、なぜ黙って人々の苦しむ様子を眺めていられるのでしょうか。

これは不可能だと思っている人たちに、女性が異なる卵子で数日隔てた2つの異なる受精によって双子をみごもるという医学の記録は十分にあり、**それだけでなく**、いくつかの例では双子がそれぞれ異なる男性から生まれたことを示したのです。この頃よく知られている表紙に載ったニュースは、ノルウェー人の母親が裁判を起こして自分の夫に自分と自分の双子を養うように訴えたもので、その双子の一人は白人で、もう一人は黒人でした。彼女は自分は黒人の愛人を持っていたことを認めました。2つ受胎は3週間も隔てていました。1963年テキサス州バーモントにおいて、何日か離れた複数の受胎での多胎出産の記録がさらにあり、実際多かったため女性が出産の際にその中のひとりの子と共にあと少しで命を落とすところでした。

なぜこのことが起きなければならなかったのでしょうか。なぜサーパントの種がこの方法で来なければならなかったのでしょうか。人は神のために造られました。人は神の神殿であるべきでした。神(聖霊)の休まれるところは人、神殿でした。

「ダビデは神の前に恵みをいただき、ヤコブの神のために御住まいを得たいと願い求めました。けれども、神のために家を建てたのはソロモンでした。

これは不可能だと思っている人たちに、女性が異なる卵子で数日隔てた2つの異なる受精によって双子をみごもるという医学の記録は十分にあり、**それだけでなく**、いくつかの例では双子がそれぞれ異なる男性から生まれたことを示したのです。この頃よく知られている表紙に載ったニュースは、ノルウェー人の母親が裁判を起こして自分の夫に自分と自分の双子を養うように訴えたもので、その双子の一人は白人で、もう一人は黒人でした。彼女は自分は黒人の愛人を持っていたことを認めました。2つ受胎は3週間も隔てていました。1963年テキサス州バーモントにおいて、何日か離れた複数の受胎での多胎出産の記録がさらにあり、実際多かったため女性が出産の際にその中のひとりの子と共にあと少しで命を落とすところでした。

なぜこのことが起きなければならなかったのでしょうか。なぜサーパントの種がこの方法で来なければならなかったのでしょうか。人は神のために造られました。人は神の神殿であるべきでした。神(聖霊)の休まれるところは人、神殿でした。

「ダビデは神の前に恵みをいただき、ヤコブの神のために御住まいを得たいと願い求めました。けれども、神のために家を建てたのはソロモンでした。

しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みになりません。預言者が語っているとおりです。『主は言われる。天はわたしの王座、地はわたしの足の足台である。あなたがたは、どのような家をわたしのために建てようとするのか。わたしの休む所とは、どこか。』

わたしの手が、これらのものをみな、造ったのではないか。』

かたくなで、心と耳とに割礼を受けていない人たち。あなたがたは、父祖たちと同様に、いつも聖霊に逆らっているのです。」

悪魔はこのことをずっとわかってきました。彼も神と同じように人の中に住みたかったです。しかし神は御自身にその権利を保留されました。悪魔はそうすることができません。神のみが人の肉体に表れることができます。悪魔はそうすることが不可能で、できません。彼には創造する力がないのです。悪魔が自分のやりたいことを達成するための唯一の方法として、ガダラのブダの群れの中に悪霊として入ったのと同じように、エデンの中でサーパントの中に入らなければなりません。神は動物の中に入られませんが、悪魔はそうすることができ、目的を達成するためにそうしました。彼は神がマリアを通されたように、直接エバを通して子を持つことができないので、サーパ

しかし、いと高き方は、手で造った家にはお住みになりません。預言者が語っているとおりです。『主は言われる。天はわたしの王座、地はわたしの足の足台である。あなたがたは、どのような家をわたしのために建てようとするのか。わたしの休む所とは、どこか。』

わたしの手が、これらのものをみな、造ったのではないか。』

かたくなで、心と耳とに割礼を受けていない人たち。あなたがたは、父祖たちと同様に、いつも聖霊に逆らっているのです。」

悪魔はこのことをずっとわかってきました。彼も神と同じように人の中に住みたかったです。しかし神は御自身にその権利を保留されました。悪魔はそうすることができません。神のみが人の肉体に表れることができます。悪魔はそうすることが不可能で、できません。彼には創造する力がないのです。悪魔が自分のやりたいことを達成するための唯一の方法として、ガダラのブダの群れの中に悪霊として入ったのと同じように、エデンの中でサーパントの中に入らなければなりません。神は動物の中に入られませんが、悪魔はそうすることができ、目的を達成するためにそうしました。彼は神がマリアを通されたように、直接エバを通して子を持つことができないので、サーパ

さを知っている。(しかしあなたは実際は富んでいる)またユダヤ人だと自称しているが、実はそうでなく、かえってサタンの会衆である人たちから、ののしられていることも知っている。」

この時代の特徴は明らかに艱難です。最初の時代に艱難のようなものがあつたとしても、それはこの時代に起こる艱難の予兆にすぎませんでした。次に記すパウロの言葉は、世界中のクリスチャンに、時代を超えて当てはまります。

「あなたがたは、光に照らされて後、苦難に会いながら激しい戦いに耐えた初めのころを、思い起こしなさい。人々の目の前で、そしりと苦しみとを受けた者もあれば、このようなめにあつた人々の仲間になった者もありました。あなたがたは、捕らえられている人々を思いやり、また、もっとすぐれた、いつまでも残る財産を持っていることを知っていたので、自分の財産が奪われても、喜んで忍びました。ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。あなたがたが神のみところを行って、約

さを知っている。(しかしあなたは実際は富んでいる)またユダヤ人だと自称しているが、実はそうでなく、かえってサタンの会衆である人たちから、ののしられていることも知っている。」

この時代の特徴は明らかに艱難です。最初の時代に艱難のようなものがあつたとしても、それはこの時代に起こる艱難の予兆にすぎませんでした。次に記すパウロの言葉は、世界中のクリスチャンに、時代を超えて当てはまります。

「あなたがたは、光に照らされて後、苦難に会いながら激しい戦いに耐えた初めのころを、思い起こしなさい。人々の目の前で、そしりと苦しみとを受けた者もあれば、このようなめにあつた人々の仲間になった者もありました。あなたがたは、捕らえられている人々を思いやり、また、もっとすぐれた、いつまでも残る財産を持っていることを知っていたので、自分の財産が奪われても、喜んで忍びました。ですから、あなたがたの確信を投げ捨ててはなりません。それは大きな報いをもたらすものなのです。あなたがたが神のみところを行って、約

知ることになります[コリントI 13:12]。そして私たちは主に似る者となります。これは小羊の血と、イエス・キリストへのあかしの御言葉で勝利した者の財産です[黙示録12:11]。

あの日が来ることを私たちはいかに待ち望んでいることでしょうか、その時曲がりくねった道が全部まっすぐになり、そして私たちはいつまでも主とともにいます。あの日が早く来ますように、そして私たちが主の栄光を共有することに値する証拠として、早く主の御言葉に従いますように。

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」一つ目の教会が御霊の言われることを聞く代わりに人の言うことを聞いたのはなんと痛ましいことでしょうか。しかし神に感謝いたします。最後の時代にあるグループ、最後の日の真の花嫁が起こされ、そして彼女は御霊の言われることを聞きます。あの暗闇に満ちた日に光は純粋な御言葉によって戻り、そして私たちは再びペンテコステの力を持ち、主イエス・キリストの再来を歓迎します。

苦しみと性格

黙示録 2:9

「わたしは、あなたの苦しみと貧し

知ることになります[コリントI 13:12]。そして私たちは主に似る者となります。これは小羊の血と、イエス・キリストへのあかしの御言葉で勝利した者の財産です[黙示録12:11]。

あの日が来ることを私たちはいかに待ち望んでいることでしょうか、その時曲がりくねった道が全部まっすぐになり、そして私たちはいつまでも主とともにいます。あの日が早く来ますように、そして私たちが主の栄光を共有することに値する証拠として、早く主の御言葉に従いますように。

「耳のある者は御霊が諸教会に言われることを聞きなさい。」一つ目の教会が御霊の言われることを聞く代わりに人の言うことを聞いたのはなんと痛ましいことでしょうか。しかし神に感謝いたします。最後の時代にあるグループ、最後の日の真の花嫁が起こされ、そして彼女は御霊の言われることを聞きます。あの暗闇に満ちた日に光は純粋な御言葉によって戻り、そして私たちは再びペンテコステの力を持ち、主イエス・キリストの再来を歓迎します。

苦しみと性格

黙示録 2:9

「わたしは、あなたの苦しみと貧し

ントに入ってエバをだましました。彼は彼女を誘惑し、彼女によって悪魔は間接的に子を得ました。カインは悪魔のすべての霊的な特徴とサーパントの動物的欲望(性的な、肉体的な)の特徴を受け継ぎました。聖霊がカインは悪い者から出たと言われてもつともです[ヨハネI 3:12]。彼はそうです。

今いくつかの証明されたことをあげて、人間と動物の間には絶対的な密接な関係があることを示したいです。それは肉体的なことです。まだ生まれていない動物から胚の細胞を取り出して人間に注入できることを知っていますか。そうしたらそれらの甲状腺の細胞は人の甲状腺にまっすぐ向かうし、腎臓の細胞はまっすぐ人の腎臓に向かいます。これはなんと驚くべきことかに気づいていますか。何かの知恵がこれらの動物の細胞をぴったりと正しい場所に導きます。あの知恵がそれらの細胞を受け入れそしてぴったり正しい場所に置くのです。人と動物の間には密接な関係があります。彼らは交雑して産むことはできません。それは試されました。しかし園に戻ると、その交雑は起き、今でも存在する化学的親和力がそれを証明しています。エデンではサーパントは直立する動物でした。彼は人間に近かったです。ほとんど人間でした。悪魔はサーパントの肉体的特徴を利用してエバを欺きました。そして神はサーパントのその形を破壊され

ントに入ってエバをだましました。彼は彼女を誘惑し、彼女によって悪魔は間接的に子を得ました。カインは悪魔のすべての霊的な特徴とサーパントの動物的欲望(性的な、肉体的な)の特徴を受け継ぎました。聖霊がカインは悪い者から出たと言われてもつともです[ヨハネI 3:12]。彼はそうです。

今いくつかの証明されたことをあげて、人間と動物の間には絶対的な密接な関係があることを示したいです。それは肉体的なことです。まだ生まれていない動物から胚の細胞を取り出して人間に注入できることを知っていますか。そうしたらそれらの甲状腺の細胞は人の甲状腺にまっすぐ向かうし、腎臓の細胞はまっすぐ人の腎臓に向かいます。これはなんと驚くべきことかに気づいていますか。何かの知恵がこれらの動物の細胞をぴったりと正しい場所に導きます。あの知恵がそれらの細胞を受け入れそしてぴったり正しい場所に置くのです。人と動物の間には密接な関係があります。彼らは交雑して産むことはできません。それは試されました。しかし園に戻ると、その交雑は起き、今でも存在する化学的親和力がそれを証明しています。エデンではサーパントは直立する動物でした。彼は人間に近かったです。ほとんど人間でした。悪魔はサーパントの肉体的特徴を利用してエバを欺きました。そして神はサーパントのその形を破壊され

ました。他の獣は人と交雑することはできません。でも親和性は存在します。

さてここまで深く入ったならば、この問題についての考えをスッキリさせ、私がかつてそうであったのと同じように「サーパントの種の教義」に入る必要性を見えるようにしましょう。このことを園の真ん中に2本の木があるという事実から始めました。いのちの木はイエスでした。もう1本の木は絶対に悪魔である、なぜならその木から出た実からそれがわかるのです。そして、私たちはそれらの木は両方ともに人と関わりがあることを知っています、さもないとそれらはそこに決して置かれることはないでしょう。それらは神の至高の計画と目的の中に、人そして神御自身と関係があるに違いない、でないと神は全知な方だと言うことはできません。これまでの全てのことは真実です、そうではありませんか。今御言葉は地球が創造される前から神の目的は御自分の永遠な命を人と共有されることだと断定されました。エペソ 1:4-11、

「すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあつて選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

神は、みむねとみこころのままに、

ました。他の獣は人と交雑することはできません。でも親和性は存在します。

さてここまで深く入ったならば、この問題についての考えをスッキリさせ、私がかつてそうであったのと同じように「サーパントの種の教義」に入る必要性を見えるようにしましょう。このことを園の真ん中に2本の木があるという事実から始めました。いのちの木はイエスでした。もう1本の木は絶対に悪魔である、なぜならその木から出た実からそれがわかるのです。そして、私たちはそれらの木は両方ともに人と関わりがあることを知っています、さもないとそれらはそこに決して置かれることはないでしょう。それらは神の至高の計画と目的の中に、人そして神御自身と関係があるに違いない、でないと神は全知な方だと言うことはできません。これまでの全てのことは真実です、そうではありませんか。今御言葉は地球が創造される前から神の目的は御自分の永遠な命を人と共有されることだと断定されました。エペソ 1:4-11、

「すなわち、神は私たちを世界の基の置かれる前から彼にあつて選び、御前で聖く、傷のない者にしようとされました。

神は、みむねとみこころのままに、

れた時に、姦通に敗れました[サムエルII 12:9]。しかしその後、時が満たされた時に、ある方が来られ、頭であるイエスでさえ[ガラテヤ4:4]、神の御口からでたすべての御言葉で生きているかどうかを試されなければなりませんでした[マタイ4:1]。その時悪魔は敗れました[マタイ4:1-11, ルカ4:11-13]。なぜならここに「…と書いてある」によって生きる方がおられ、そしてその神の傑作は神の御言葉を反射することによって勝利を得られました。そしてこの表された完璧な方は十字架につけられ、神の完璧な子羊として完璧なささげ物として捧げられました。そして「木」の上で主は傷を負って亡くなられ、そのことで私たちは主によって、主がおられるため、いのちの木の実を食べることができ、ただで与えられたそのいのちで私たちは勝利を得て、そして神の御言葉を表すことができるのです。

そして今神によって勝利を得たこれらの神の息子たちは神の樂園の特権、そしてイエス・キリストとの途切れない交流を与えられました。彼らは決して主から離れることはありません。主はどこに行かれても。主の花嫁は行きます。主が持つておられるものは何でも共同相続の関係として御自分の愛する人に共有されます。秘密なことは明かされます。隠されたことは明らかにされます。私たちは知られているのと同じように、

れた時に、姦通に敗れました[サムエルII 12:9]。しかしその後、時が満たされた時に、ある方が来られ、頭であるイエスでさえ[ガラテヤ4:4]、神の御口からでたすべての御言葉で生きているかどうかを試されなければなりませんでした[マタイ4:1]。その時悪魔は敗れました[マタイ4:1-11, ルカ4:11-13]。なぜならここに「…と書いてある」によって生きる方がおられ、そしてその神の傑作は神の御言葉を反射することによって勝利を得られました。そしてこの表された完璧な方は十字架につけられ、神の完璧な子羊として完璧なささげ物として捧げられました。そして「木」の上で主は傷を負って亡くなられ、そのことで私たちは主によって、主がおられるため、いのちの木の実を食べることができ、ただで与えられたそのいのちで私たちは勝利を得て、そして神の御言葉を表すことができるのです。

そして今神によって勝利を得たこれらの神の息子たちは神の樂園の特権、そしてイエス・キリストとの途切れない交流を与えられました。彼らは決して主から離れることはありません。主はどこに行かれても。主の花嫁は行きます。主が持つておられるものは何でも共同相続の関係として御自分の愛する人に共有されます。秘密なことは明かされます。隠されたことは明らかにされます。私たちは知られているのと同じように、

べさせよう。」

なんとワクワクさせる考えでしょう。そのエデンの園のいのちの木はアダムの墮落によって近づくことができなかつたのが、今勝利を得た者に与えられるのです。守衛のセルビムの炎の剣は鞘に収められました。しかし剣の刃に子羊の血が塗られないとそれは鞘に収められません。この真理について瞑想してみてください、それと同時に、アダムと彼の子孫がこの木に近づくことができなかつたのに、今もう一度許されたのかについて考えてみてください。

神が人を造られた意図は御自分の御言葉を表されるためです。創世記において、アダムは生きるのに御言葉を与えられました。御言葉によって生かされているいのちは御言葉の表れです。そうではありませんか。しかしアダムはその御言葉によって生かされたのでしょうか。いいえ、なぜなら彼はすべての御言葉で生きるべきなのに、すべての御言葉に気を留めることができませんでした。そうしたらモーセが来ました。なんと偉大で力のある人だったのでしょ。しかし彼もすべての御言葉で生きることができず、そしてその預言者はこれから来る偉大な預言者の象徴であったが、怒りの中で御言葉に従うことに失敗しました[民数記20:7-8,11-12]。そしてダビデもです、イスラエルの偉大な王で、神の御心にかなう人でした。彼は試さ

べさせよう。」

なんとワクワクさせる考えでしょう。そのエデンの園のいのちの木はアダムの墮落によって近づくことができなかつたのが、今勝利を得た者に与えられるのです。守衛のセルビムの炎の剣は鞘に収められました。しかし剣の刃に子羊の血が塗られないとそれは鞘に収められません。この真理について瞑想してみてください、それと同時に、アダムと彼の子孫がこの木に近づくことができなかつたのに、今もう一度許されたのかについて考えてみてください。

神が人を造られた意図は御自分の御言葉を表されるためです。創世記において、アダムは生きるのに御言葉を与えられました。御言葉によって生かされているいのちは御言葉の表れです。そうではありませんか。しかしアダムはその御言葉によって生かされたのでしょうか。いいえ、なぜなら彼はすべての御言葉で生きるべきなのに、すべての御言葉に気を留めることができませんでした。そうしたらモーセが来ました。なんと偉大で力のある人だったのでしょ。しかし彼もすべての御言葉で生きることができず、そしてその預言者はこれから来る偉大な預言者の象徴であったが、怒りの中で御言葉に従うことに失敗しました[民数記20:7-8,11-12]。そしてダビデもです、イスラエルの偉大な王で、神の御心にかなう人でした。彼は試さ

私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

それは、神がその愛する方であつて私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

この方であつて私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。

この恵みを、神は私たちの上にあふれさせ、

あらゆる知恵と思慮深さをもって、みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。それは、この方であつて神があらかじめお立てになったみむねによることであり、時がついに満ちて、実現します。いっさいのものがキリストにあつて、天にあるもの地にあるものがこの方であつて、一つに集められるのです。

この方であつて私たちは御国を受け継ぐ者ともなりました。みこころにより

私たちをイエス・キリストによってご自分の子にしようと、愛をもってあらかじめ定めておられました。

それは、神がその愛する方であつて私たちに与えてくださった恵みの栄光が、ほめたたえられるためです。

この方であつて私たちは、その血による贖い、罪の赦しを受けています。これは神の豊かな恵みによることです。

この恵みを、神は私たちの上にあふれさせ、

あらゆる知恵と思慮深さをもって、みこころの奥義を私たちに知らせてくださいました。それは、この方であつて神があらかじめお立てになったみむねによることであり、時がついに満ちて、実現します。いっさいのものがキリストにあつて、天にあるもの地にあるものがこの方であつて、一つに集められるのです。

この方であつて私たちは御国を受け継ぐ者ともなりました。みこころにより

ご計画のままをみな行う方の目的に従って、私たちはあらかじめこのように定められていたのです。」

黙示録13:8、

「地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼(悪魔)を拜むようになる。」

しかしそのいのちは「神が肉において現れる」方法以外のいかなる方法においても共有されることはできない、共有されることはないのです[Iテモテ3:16]。これは神の永遠の、そしてあらかじめ定められた目的の一部でした。この計画は神の恵みの栄光を賛美するためのものでした。これは贖いの計画でした。これは救いの計画でした。よく聞いてください。「神が救い主とかられるためには御自分が救いを必要とする人をあらかじめ定められる必要があります、そうすることで御自身が救い主となられる理由と目的を得られるます。」それは百パーセント正しいことで、それを支持する聖句は何箇所もあります、ローマ 11:36、

「というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るから

ご計画のままをみな行う方の目的に従って、私たちはあらかじめこのように定められていたのです。」

黙示録13:8、

「地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、世の初めからその名の書きしるされていない者はみな、彼(悪魔)を拜むようになる。」

しかしそのいのちは「神が肉において現れる」方法以外のいかなる方法においても共有されることはできない、共有されることはないのです[Iテモテ3:16]。これは神の永遠の、そしてあらかじめ定められた目的の一部でした。この計画は神の恵みの栄光を賛美するためのものでした。これは贖いの計画でした。これは救いの計画でした。よく聞いてください。「神が救い主とかられるためには御自分が救いを必要とする人をあらかじめ定められる必要があります、そうすることで御自身が救い主となられる理由と目的を得られるます。」それは百パーセント正しいことで、それを支持する聖句は何箇所もあります、ローマ 11:36、

「というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るから

然を愛し、土を静かに耕し、富よりも真理を大事にします。サーパントの子は一流の商業、素晴らしい発明をもたらしたが、それらのすべてとともに死がやってきます。彼らの火薬そして原子爆弾は戦争で殺し、そして平和な時に彼らの機械の発明、例えば車は、平和な時に戦争の時の発明よりも多くの人を殺しました。死と破壊は彼女の苦労の実です。

しかし彼らは敬虔です。彼らは神を信じています。彼らは自分たちの父、悪魔、そして自分たちの先祖、カインに似ています。彼らは両方とも神を信じていました。彼らは教会に行きます。彼らは毒麦が麦と混ざっているように義人の中に混ざっています。墮落のために彼らはニコライの教義を作ります。彼らは毒を撒き、カインがアベルを殺したようにできる限り神の子を破壊しようとします。彼らの目には神に対する恐れはありません[ローマ3:18;詩篇36:1]。

しかし神は御自分の人を一人も見捨てられません。神は死の中でさえ彼らを見守られ、そして最後の日に彼らを復活させると約束されました。

神の御言葉による命

「...勝利を得る者に、わたしは神の paradisaにあるいのちの木の實を食

然を愛し、土を静かに耕し、富よりも真理を大事にします。サーパントの子は一流の商業、素晴らしい発明をもたらしたが、それらのすべてとともに死がやってきます。彼らの火薬そして原子爆弾は戦争で殺し、そして平和な時に彼らの機械の発明、例えば車は、平和な時に戦争の時の発明よりも多くの人を殺しました。死と破壊は彼女の苦労の実です。

しかし彼らは敬虔です。彼らは神を信じています。彼らは自分たちの父、悪魔、そして自分たちの先祖、カインに似ています。彼らは両方とも神を信じていました。彼らは教会に行きます。彼らは毒麦が麦と混ざっているように義人の中に混ざっています。墮落のために彼らはニコライの教義を作ります。彼らは毒を撒き、カインがアベルを殺したようにできる限り神の子を破壊しようとします。彼らの目には神に対する恐れはありません[ローマ3:18;詩篇36:1]。

しかし神は御自分の人を一人も見捨てられません。神は死の中でさえ彼らを見守られ、そして最後の日に彼らを復活させると約束されました。

神の御言葉による命

「...勝利を得る者に、わたしは神の paradisaにあるいのちの木の實を食

われました。いのちは神の御言葉です。死は神の御言葉以外の全てです。エバは一つの言葉を変えることを許しただけですぐに悪魔は彼女を占有しました。神は、「自分が食べられる以上の量の実を木から取ってはいけない。」とおっしゃることができたかもしれませんが。そうしたら悪魔は、「見よ、それは絶対正しいことです。採りすぎると腐ってしまいます。しかし実を保存する方法があって、あなたは採りたいだけ採れるのです。なので見てください、あなたは自分のやり方と神のやり方を同時に持つことができますのです。」と言うことができます。悪魔はすぐに彼女を占有することができます。律法全体を守っても、一つの点でつまずくなら、その人はすべてを犯した者となったのです[ヤコブ 2:10]。その御言葉をもてあそんではいけません。それは実にエペソ時代が終わる前、紀元後170年ごろに起きたことです。

あの木は何を生み出したのですか。善悪の知識の木は死を生み出しました。カインは自分の兄弟アベルを殺しました。悪人は義人を殺しました。これが先例を設立しました。こういうことは預言者たちが言ったように、万物が復興されるまで継続されます。

善悪の知識の木からは知識人、著名人が生み出されました。しかし彼らの道は死の道です。神の人々はシンプルだが霊的な心を持っていて、神と自

われました。いのちは神の御言葉です。死は神の御言葉以外の全てです。エバは一つの言葉を変えることを許しただけですぐに悪魔は彼女を占有しました。神は、「自分が食べられる以上の量の実を木から取ってはいけない。」とおっしゃることができたかもしれませんが。そうしたら悪魔は、「見よ、それは絶対正しいことです。採りすぎると腐ってしまいます。しかし実を保存する方法があって、あなたは採りたいだけ採れるのです。なので見てください、あなたは自分のやり方と神のやり方を同時に持つことができますのです。」と言うことができます。悪魔はすぐに彼女を占有することができます。律法全体を守っても、一つの点でつまずくなら、その人はすべてを犯した者となったのです[ヤコブ 2:10]。その御言葉をもてあそんではいけません。それは実にエペソ時代が終わる前、紀元後170年ごろに起きたことです。

あの木は何を生み出したのですか。善悪の知識の木は死を生み出しました。カインは自分の兄弟アベルを殺しました。悪人は義人を殺しました。これが先例を設立しました。こういうことは預言者たちが言ったように、万物が復興されるまで継続されます。

善悪の知識の木からは知識人、著名人が生み出されました。しかし彼らの道は死の道です。神の人々はシンプルだが霊的な心を持っていて、神と自

です。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」

人は園の真ん中のあのいのちの木のところに直接来て食べることはできません。あの永遠のいのちの木はまず肉身とならなければならないのです。しかし神が罪人を救われる前に、救われるべき罪人がいなければなりません。人は堕落しなければなりません。その堕落は悪魔によって引き起こされることができ、悪魔は堕落させるために肉身を持たなければなりません。悪魔も肉身となって来なければなりません。しかしキリストが肉身となって堕落を修復されたように、悪魔は人の肉身を通して来ることができませんでした。しかし、サーパントという動物があり、それがあまりにも人間に近かったので、悪魔はその獣の中に入り、その獣を通して人の肉体に入って堕落を引き起こすことができ、自分自身を人類の中に入れることができました。これはいつかイエスが来られて御自身を人類の中に、人の体の中に注入され、復活の時に私たちも主のような栄光の身体を持つことができるということと同じなのです。したがって神が園の中でなされたことは神のあらかじめ定められたプランだったのでした。悪魔が神の目的に必要なことをもたらした時、人は園の中のいのちの木に近づくことができなくなりました。もちろんできません。まだその時でないからで

です。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。」

人は園の真ん中のあのいのちの木のところに直接来て食べることはできません。あの永遠のいのちの木はまず肉身とならなければならないのです。しかし神が罪人を救われる前に、救われるべき罪人がいなければなりません。人は堕落しなければなりません。その堕落は悪魔によって引き起こされることができ、悪魔は堕落させるために肉身を持たなければなりません。悪魔も肉身となって来なければなりません。しかしキリストが肉身となって堕落を修復されたように、悪魔は人の肉身を通して来ることができませんでした。しかし、サーパントという動物があり、それがあまりにも人間に近かったので、悪魔はその獣の中に入り、その獣を通して人の肉体に入って堕落を引き起こすことができ、自分自身を人類の中に入れることができました。これはいつかイエスが来られて御自身を人類の中に、人の体の中に注入され、復活の時に私たちも主のような栄光の身体を持つことができるということと同じなのです。したがって神が園の中でなされたことは神のあらかじめ定められたプランだったのでした。悪魔が神の目的に必要なことをもたらした時、人は園の中のいのちの木に近づくことができなくなりました。もちろんできません。まだその時でないからで

す。しかしある動物は殺され(動物がその墮落を引き起こしたのではありませんか。そのため動物の命をささげなければなりません)、その血は流れ、そうしたら神は人と再び交流することができました。そうしたらある日、神が肉身にお現われになり、神は御自身の身分を低くされることによって墮落した人を取り戻され、彼に永遠のいのちを享受させることがおできになるのです。このポイントを見たとき、あなたはサーパントの種を理解することができ、エバが食べたのはリンゴではないことがわかるのです。いいえ、それは種を交雑したことによってもたらした人の墮落でした。

さて、ある質問に答えたところで新たな疑問が浮かんでくることは知っています、人々は私に、「もしエバがそのように墮落したのであれば、アダムは何を行なったでしょう、なぜ神はアダムを責められたのでしょうか。」それは簡単なことです。神の御言葉は永遠に天の上に確立されています[詩篇119:89]。一点の宇宙塵が造られる前に、御言葉(神の法律)は私たちの聖書に書かれているのと全く同じようにそこにあったのでした。さて聖書にはもしある女性が自分の夫を離れ、他の男性と駆け落ちすると、彼女は姦婦となってもはや夫を持つ女性でなくなり、その夫は彼女を連れ戻すことはできません。その御言葉はエデンの中ではモーセが律法書の中に書いたのと同じように真実

す。しかしある動物は殺され(動物がその墮落を引き起こしたのではありませんか。そのため動物の命をささげなければなりません)、その血は流れ、そうしたら神は人と再び交流することができました。そうしたらある日、神が肉身にお現われになり、神は御自身の身分を低くされることによって墮落した人を取り戻され、彼に永遠のいのちを享受させることがおできになるのです。このポイントを見たとき、あなたはサーパントの種を理解することができ、エバが食べたのはリンゴではないことがわかるのです。いいえ、それは種を交雑したことによってもたらした人の墮落でした。

さて、ある質問に答えたところで新たな疑問が浮かんでくることは知っています、人々は私に、「もしエバがそのように墮落したのであれば、アダムは何を行なったでしょう、なぜ神はアダムを責められたのでしょうか。」それは簡単なことです。神の御言葉は永遠に天の上に確立されています[詩篇119:89]。一点の宇宙塵が造られる前に、御言葉(神の法律)は私たちの聖書に書かれているのと全く同じようにそこにあったのでした。さて聖書にはもしある女性が自分の夫を離れ、他の男性と駆け落ちすると、彼女は姦婦となってもはや夫を持つ女性でなくなり、その夫は彼女を連れ戻すことはできません。その御言葉はエデンの中ではモーセが律法書の中に書いたのと同じように真実

れらに魅了されます。彼らの無意識な考えが彼らをじっとへびを眺めさせているのです。へびの誘惑は無意識な性的なものです。今まで続いて来た世代での人々は同じことを見てきました。へびはずっとぞっと感じさせるが、魅了させられるものでした。へびはいつも善と悪の象徴であり続けました。それは時代を通して男根のシンボルであり続けました。エデンの園での描写のように、サーパントは邪悪な感情の化身であることがわかります。

ほとんどの世界各地の様々な文明が開けていない種族において、へびは性となげられていて、崇拜の対象となっています。性科学の研究で多くの例が出されています。今これらの人々は教育も受けておらず、聖書も読んだことがないのに、どこからそれを知ったのかを知りたいです。しかし洪水のことでさえ世界中で周知され、人の墮落の真実も知られてました。彼らはエデンで何が起きたのかを知っていました。

さてここで誰かが私にこういう質問をするでしょう: 神はエバにサーパントに気をつけないとサーパントは彼女を誘惑すると言われましたか。よく聞いてください、神は何かが起こしようとしていると言われる必要はありませんでした。ただこの話のポイントを掴みましょう。神はシンプルに御言葉をくださったのです。神は知識を持たないように、いのちを持つようにと言

れらに魅了されます。彼らの無意識な考えが彼らをじっとへびを眺めさせているのです。へびの誘惑は無意識な性的なものです。今まで続いて来た世代での人々は同じことを見てきました。へびはずっとぞっと感じさせるが、魅了させられるものでした。へびはいつも善と悪の象徴であり続けました。それは時代を通して男根のシンボルであり続けました。エデンの園での描写のように、サーパントは邪悪な感情の化身であることがわかります。

ほとんどの世界各地の様々な文明が開けていない種族において、へびは性となげられていて、崇拜の対象となっています。性科学の研究で多くの例が出されています。今これらの人々は教育も受けておらず、聖書も読んだことがないのに、どこからそれを知ったのかを知りたいです。しかし洪水のことでさえ世界中で周知され、人の墮落の真実も知られてました。彼らはエデンで何が起きたのかを知っていました。

さてここで誰かが私にこういう質問をするでしょう: 神はエバにサーパントに気をつけないとサーパントは彼女を誘惑すると言われましたか。よく聞いてください、神は何かが起こしようとしていると言われる必要はありませんでした。ただこの話のポイントを掴みましょう。神はシンプルに御言葉をくださったのです。神は知識を持たないように、いのちを持つようにと言

っています、

「カインがアベルを殺したので、彼の代わりに、神は私にもうひとりの子を授けられたから。」

彼女は神が自分にもうひとりの子を授けられたとは言っていない、もし授けられるのであれば、それはキリストのことです。この息子セツはアベルの代わりに聖別され選ばれました。彼女はアダムから来た息子を認めましたが、ここでカインのことを認めず、なぜなら彼はサーパントから来たからです。彼女はアベルの代わりの別の子と言ったとき、彼女はカインはアベルとは違うと言っているのです、もし同じ父親なら彼女はこう言ったはずで、「私はさらにひとりの子を授けられた」。

私は自分が読んだすべてのものを信じるわけではないのですが、実に好奇心を感じさせられたことに、1963年3月1日の「LIFE」誌において私たちが討論しているのと同じことが心理学者たちが話していたことが報じられました。今心理学者たちは皆お互いを賛成しているわけではないのだが、ここでは意見が一致しました。ヘビに対する恐怖は意識的な反感ではなく、無意識なものです。もし自然な恐怖なら人々はただ喜んでゴリラやライオンのケージの前に立ってそ

っています、

「カインがアベルを殺したので、彼の代わりに、神は私にもうひとりの子を授けられたから。」

彼女は神が自分にもうひとりの子を授けられたとは言っていない、もし授けられるのであれば、それはキリストのことです。この息子セツはアベルの代わりに聖別され選ばれました。彼女はアダムから来た息子を認めましたが、ここでカインのことを認めず、なぜなら彼はサーパントから来たからです。彼女はアベルの代わりの別の子と言ったとき、彼女はカインはアベルとは違うと言っているのです、もし同じ父親なら彼女はこう言ったはずで、「私はさらにひとりの子を授けられた」。

私は自分が読んだすべてのものを信じるわけではないのですが、実に好奇心を感じさせられたことに、1963年3月1日の「LIFE」誌において私たちが討論しているのと同じことが心理学者たちが話していたことが報じられました。今心理学者たちは皆お互いを賛成しているわけではないのだが、ここでは意見が一致しました。ヘビに対する恐怖は意識的な反感ではなく、無意識なものです。もし自然な恐怖なら人々はただ喜んでゴリラやライオンのケージの前に立ってそ

でした。御言葉は変わることはありません。アダムは彼女を連れ戻しました。彼は自分が実際何をしているのかはわかっていたが[テモテI 2:14]、彼はそれにもかかわらずそうしたのでした。彼女は彼の一部でした、そして彼は彼女の責任を担おうとしました。彼は彼女を行かせませんでした。そのためエバは彼からみごもったのでした。彼は彼女はそうなるを知っていました。彼は人類に実際に何が起こるのかは知っていたが、彼は人類を罪に売りだすことでエバを得ることができました、なぜなら彼女を愛していたからです。

そしてそのふたりの息子は生まれました。人類の祖先となる息子たちで、人類は今日でも汚染されています。聖書は彼らについてなんと仰いましたか。聖書を読んでください。ユダ 14、

「アダムから七代目のエノクも、彼らについて預言してこう言っています…」

創世記5章はエノクの家系についての章です。それは家系についてこのように記録しています、1.アダム、2.セツ、3.エノシュ、4.ケナン、5.マハラルエル、6.エレデ、7.エノク。

カインは言及されていないことに注意してください。アダムの家系はセツを通っています。もしカインが

でした。御言葉は変わることはありません。アダムは彼女を連れ戻しました。彼は自分が実際何をしているのかはわかっていたが[テモテI 2:14]、彼はそれにもかかわらずそうしたのでした。彼女は彼の一部でした、そして彼は彼女の責任を担おうとしました。彼は彼女を行かせませんでした。そのためエバは彼からみごもったのでした。彼は彼女はそうなるを知っていました。彼は人類に実際に何が起こるのかは知っていたが、彼は人類を罪に売りだすことでエバを得ることができました、なぜなら彼女を愛していたからです。

そしてそのふたりの息子は生まれました。人類の祖先となる息子たちで、人類は今日でも汚染されています。聖書は彼らについてなんと仰いましたか。聖書を読んでください。ユダ 14、

「アダムから七代目のエノクも、彼らについて預言してこう言っています…」

創世記5章はエノクの家系についての章です。それは家系についてこのように記録しています、1.アダム、2.セツ、3.エノシュ、4.ケナン、5.マハラルエル、6.エレデ、7.エノク。

カインは言及されていないことに注意してください。アダムの家系はセツを通っています。もしカインが

アダムの子であれば、生得権の律法によってカインは長子の権利を得るはずです。また創世記5:3でそれについて注意深く書かれているはずで、こう書かれています、「アダムは、百三十年生きて、彼に似た、彼のかたちどおりの子を生んだ。彼はその子をセツと名づけた。」カインはアダムに似たとはどこにも書かれていない、もし彼はアダムの息子であればそう書かれるのです、なぜなら生産の法則は子供は両親に似ると強調しています。私たちが創世記とルカの福音書にある二つの家系の中でカインは書かれていないことに気づいています。もしカインはアダムの息子ならばどこかで、「カインはアダムの息子で、アダムは神の息子」と書かれるはずで、そう書かれてはいない、なぜならそう書くことができないからです。

もちろん、長い間学者は人の二つの家系を明らかにしました、一つはセツから出た敬虔な家系で、もう一つはカインから出た不敬虔な家系です。そしてそれは変だが、真実です、これらの学者は一度もなぜカインはそのような人で、アベルとセツは霊的で敬虔な家系なのかを教えてくださいませんでした。普通な考えに基づくと、カインは敬虔で、アベルは少し敬虔さを失い、そしてセツはさらに不敬虔になって、その後どんどん不敬虔にしまうはず、なぜなら世代が増えれば増えるほど神から遠ざかってしまったからです。しかし違いま

アダムの子であれば、生得権の律法によってカインは長子の権利を得るはずで、また創世記5:3でそれについて注意深く書かれているはずで、こう書かれています、「アダムは、百三十年生きて、彼に似た、彼のかたちどおりの子を生んだ。彼はその子をセツと名づけた。」カインはアダムに似たとはどこにも書かれていない、もし彼はアダムの息子であればそう書かれるのです、なぜなら生産の法則は子供は両親に似ると強調しています。私たちが創世記とルカの福音書にある二つの家系の中でカインは書かれていないことに気づいています。もしカインはアダムの息子ならばどこかで、「カインはアダムの息子で、アダムは神の息子」と書かれるはずで、そう書かれてはいない、なぜならそう書くことができないからです。

もちろん、長い間学者は人の二つの家系を明らかにしました、一つはセツから出た敬虔な家系で、もう一つはカインから出た不敬虔な家系です。そしてそれは変だが、真実です、これらの学者は一度もなぜカインはそのような人で、アベルとセツは霊的で敬虔な家系なのかを教えてくださいませんでした。普通な考えに基づくと、カインは敬虔で、アベルは少し敬虔さを失い、そしてセツはさらに不敬虔になって、その後どんどん不敬虔にしまうはず、なぜなら世代が増えれば増えるほど神から遠ざかってしまったからです。しかし違いま

した、カインは現れると悪の本性が表れ、彼のように神と御言葉にひどく反抗する人は今までなかったのです。

さてこのことをわかっておいてください:聖句で言葉の遊びはありません。聖書に書き記されたものは皆聖油を塗られた目が見えるようにそこに書かれたのです。そこにあるのはある目的のためです。御言葉がこう言われました、創世記3:20、

「さて、人は、その妻の名をエバと呼んだ。それは、彼女がすべて生きているものの母であったからである。」

でもアダムがすべて生きているものの父であったと書かれた聖句はどこにもありません。もし創世記3:20に何かの暗示がなければ、なぜエバがすべて生きているものの母であったと書かれておきながら、アダムについて何も記されなかったのですか。事実はエバがすべて生きているものの母であったが、アダムはすべて生きているものの父でないということです。

創世記4:1においてエバはこう言いました、「私は、主によってひとりの男子を得た」彼女はのことはアダムに由来するもので、アダムはカインの父だと言いません。しかし創世記4:25において彼女はこう言

した、カインは現れると悪の本性が表れ、彼のように神と御言葉にひどく反抗する人は今までなかったのです。

さてこのことをわかっておいてください:聖句で言葉の遊びはありません。聖書に書き記されたものは皆聖油を塗られた目が見えるようにそこに書かれたのです。そこにあるのはある目的のためです。御言葉がこう言われました、創世記3:20、

「さて、人は、その妻の名をエバと呼んだ。それは、彼女がすべて生きているものの母であったからである。」

でもアダムがすべて生きているものの父であったと書かれた聖句はどこにもありません。もし創世記3:20に何かの暗示がなければ、なぜエバがすべて生きているものの母であったと書かれておきながら、アダムについて何も記されなかったのですか。事実はエバがすべて生きているものの母であったが、アダムはすべて生きているものの父でないということです。

創世記4:1においてエバはこう言いました、「私は、主によってひとりの男子を得た」彼女はのことはアダムに由来するもので、アダムはカインの父だと言いません。しかし創世記4:25において彼女はこう言